

2022年3月28日

株式会社電通デジタル

**電通デジタルと電通コンサルティング、  
after コロナ時代の未来トレンドを72の視点で予測する  
「電通未来曼荼羅 2022 Beyond covid-19」を発表  
-新規事業構想のヒントをつかむ特別ワークショップの参加者を募集-**

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：川上 宗一 以下、電通デジタル）と株式会社電通コンサルティング（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：八木 克全 以下、電通コンサルティング）は、3～5年後に起こるとされるトレンドをコロナ禍の状況も踏まえながらまとめ、未来起点の経営戦略立案や新規事業、サービス開発に活用できる中期未来予測ツール「電通未来曼荼羅 2022 Beyond covid-19（以下、未来曼荼羅 2022）」を本日より公開しました。

<「未来曼荼羅 2022」表紙>



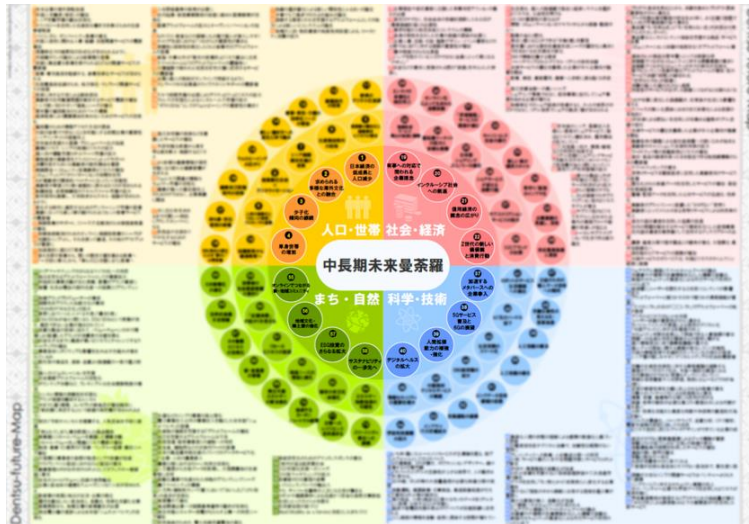
近年、テクノロジーの発展により、世の中における社会的変化が著しく活発になっています。人々の価値観はより迅速に変化し、同時に人々の消費行動をも変えていき、社会や経済に影響を与えています。ビジネスにおいても、これまでの業界の垣根が失われつつあり、異業種同士が繋がることで業界ごとに散らばっていた知見やアイデアが組み合わせられ、過去に類を見ない規模のサービスも生まれています。

こうした不確実性の高い時代において、企業はいかにイノベーションを生み出せるかが問われています。そのためには、未来の環境変化を経営層が正しく把握し、自社の経営戦略や事業戦略を先手で変革することが求められます。

このような背景を踏まえて、2010年より、未来で予想される事象をまとめた中期未来予測ツール「未来曼荼羅」の開発を開始しました。「人口・世帯」「社会・経済」「科学・技術」「まち・自然」の4つのカテゴリーにトレンドテーマを網羅的に分類し、それぞれのトレンドの概要

とデータ、関連トピック、それらが未来にもたらす変化や重要となる視点をまとめています。同ツールを用いたコンサルティングサービスも行っており<sup>\*1</sup>、これまで多くの顧客企業の経営戦略立案や事業シナリオの策定、商品・サービス開発などに活用され、高い評価を受けてきました。

## <「未来曼荼羅 2022」未来トレンド 72 テーマと未来へのヒント・視点一覧>



このたび発表した「未来曼荼羅 2022」は、時代の変化に合わせて前年度版より 15 テーマに及ぶ新規追加・変更といった大幅なアップデートを行った最新版で、72 のトレンドテーマが設定されています。中でも、近年急速な広まりを見せ、今後のビジネスに多大な影響を与えると予測されるテクノロジーや社会動向が追加され、コロナ禍の状況を踏まえながら、それらが今後いかに進展を遂げるのかを紹介しています。

### <追加された代表的なトレンドテーマ例>

#### ● Z世代の新たな価値観と消費行動

デジタルネイティブかつ、今後の消費活動を牽引するとされる Z 世代。彼ら固有の価値観や SNS を介した日々の行動を紹介し、未来の消費活動と商機を紐解きます。

## <「未来曼荼羅 2022」Z世代の新しい価値観と消費行動>

### Z世代の新しい価値観と消費行動

デジタルネイティブである「Z世代」の存在が重要である。デジタルネイティブが普及した社会で生まれ育ったZ世代は、それ以前の世代とは異なる価値観を持っており、消費行動、コミュニケーション方法も従来の世代とは大きく異なる。社会においてはZ世代の消費行動によって世帯であり、個人の消費行動も大きく変化する可能性がある。

**DATA**

- Z世代が今後の消費活動を牽引
  - 調査対象のZ世代（18歳～24歳）の消費行動は、今後10年、消費費の約一半がZ世代の消費行動によるものと予測されている。
- Z世代の価値観
  - デジタルネイティブである「Z世代」は、デジタルネイティブを通じてコミュニケーションを共有し、価値観を共有している。「Z世代」は、デジタルネイティブを通じてコミュニケーションを共有し、価値観を共有している。

**Topic (現象・事象・予見)**

- 広く深い情報を知りたいというZ世代
  - Z世代は、広く深い情報を知りたいという傾向がある。これは、Z世代がデジタルネイティブであるため、デジタルネイティブを通じて情報を共有し、価値観を共有しているためである。
- 大手ブランドより、価値観の合うインフルエンサーや個性なデジタルストーリーを重用、O2Cブランドの誕生も加速
  - Z世代は、大手ブランドよりも、価値観の合うインフルエンサーや個性なデジタルストーリーを重用する傾向がある。これは、Z世代がデジタルネイティブであるため、デジタルネイティブを通じて情報を共有し、価値観を共有しているためである。
- まずは専用アプリで情報収集、クワールは最後
  - Z世代は、まずは専用アプリで情報収集し、クワールは最後にチェックする傾向がある。これは、Z世代がデジタルネイティブであるため、デジタルネイティブを通じて情報を共有し、価値観を共有しているためである。

### 未来へのヒント・視点

- UX/UIの重要性の再なるIP
  - UX/UIの重要性は、Z世代にとって非常に重要である。Z世代は、デジタルネイティブであるため、デジタルネイティブを通じて情報を共有し、価値観を共有しているためである。
- 情報・コミュニケーションはデジタル中心から価値・体験中心へ
  - Z世代は、情報・コミュニケーションがデジタル中心から価値・体験中心へと移行する傾向がある。これは、Z世代がデジタルネイティブであるため、デジタルネイティブを通じて情報を共有し、価値観を共有しているためである。
- 副業の当たり前化
  - Z世代は、副業が当たり前になる傾向がある。これは、Z世代がデジタルネイティブであるため、デジタルネイティブを通じて情報を共有し、価値観を共有しているためである。
- 身近に感じることができる「手触り感」を重視
  - Z世代は、身近に感じることができる「手触り感」を重視する傾向がある。これは、Z世代がデジタルネイティブであるため、デジタルネイティブを通じて情報を共有し、価値観を共有しているためである。

- ウェルビーイングの広がり

SDGs で Goal3 に採用され、身体的・精神的・社会的な良好さを意味するウェルビーイング。市場や企業経営でも重要なテーマとなっており、様々な分野における動向や予測を紹介します。

- 脱炭素経営の拡大と、サステナビリティの先にある未来

人々の社会貢献意識が高まる昨今、消費行動は徐々に変化し、企業は経営戦略の転換期を迎えています。事業成長と環境再生を両立する先進企業の経営戦略や取り組みを紹介します。

### <「未来曼荼羅 2022」オンラインワークショップ開催>

この「未来曼荼羅 2022」の公開に伴い、同ツールを活用した新規事業構想を体験できるオンラインワークショップを開催します。未来に起こることが予想される事象・トレンドの紹介に加え、展開する事業にとって重要な外部環境の変化を特定し、どのように「未来曼荼羅 2022」を活用して新たな事業開発へ着想するのかをお伝えします。

【オンラインワークショップ概要】 <https://pages2.dentsudigital.co.jp/jp/seminar/20220422/>

<日時> 2022年4月22日(金) 14:00 - 16:00

<会場> オンライン

<定員> 30名

<対象者>

- 新規事業/サービス開発に関して以下のような課題を抱えている企業の方

- 新規事業/サービスを企画しても、既存の商品・ビジネスの延長のアイデアから抜け出せない
- 企画立案の段階で止まってしまい、なかなか仮説検証や企画の実行までたどり着けない
- モノづくりはできるが、ビジネスモデルの設計や事業/サービスの体験設計に課題感がある

- 当企業/チームとの連携・提携をご検討いただける方

※競合他社、パートナー企業からのお申込みはお断りさせていただきます

<参加について>

無料（事前登録/抽選制）上記 URL よりお申込みください。

電通デジタルと電通コンサルティングは、これからも「未来起点」での経営戦略の立案および新規事業・サービス開発を推進し、企業のイノベーション創出および事業成長に貢献してまいります。

※1：電通デジタルと電通、近未来の事業構想に向けた発想支援ツール「未来曼荼羅 2019」を活用したコンサルティングサービスを提供開始（2019年9月20日発表）

<https://www.dentsudigital.co.jp/release/2019/0920-000284/>

<電通コンサルティングについて>

会社名：株式会社電通コンサルティング

本社所在地：東京都港区東新橋 1-8-1

代表者：代表取締役社長執行役員 八木 克全

設 立：2006 年 11 月

資本金：6,000 万円

事業内容：グローース特化型総合コンサルティングサービスの提供

URL：<https://www.dentsuconsulting.com/>

以 上

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

国内最大級のデジタルマーケティング会社として、データとテクノロジーを駆使した次世代マーケティングの戦略策定・実行、その基盤となる IT プラットフォームの設計・構築、クライアントの事業革新を支援する DX コンサルティングなどのサービスを提供。国内外のプラットフォーマー各社との緊密なパートナーシップのもと、高度な専門性と統合力により、クライアントの事業成長に貢献しています。

**【本リリースに関する問い合わせ先】**

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

竜野・北川 TEL：03-6217-6036

Email：[press@dentsudigital.co.jp](mailto:press@dentsudigital.co.jp)

**【本事業に関する問い合わせ先】**

株式会社電通デジタル サービスイノベーション事業部

Email：[mandala@group.dentsu.co.jp](mailto:mandala@group.dentsu.co.jp)